

様へ

説明医師

説明看護師(外来)

看護師(病棟)

月日	月 日	月 日	月 日	月 日
経過	入院日 (手術前日)	当日(術前)	当日(術後)	術後1日目 2日目
目標	心身ともに安定した状態で手術に臨める		呼吸困難がない 疼痛がない	麻酔合併症がない 出血がない
検査	必要な検査は外来で完了しています(血液検査以外)			 胸部レントゲン  血液検査  胸部レントゲン
食事	21時以降は絶飲食となります	絶飲食です 	昼食から食事可能となります	
	朝食は自宅で  	  	  	     
処置・観察	呼吸の訓練とストレッチをします  リストバンドを装着します(退院日まで装着します)  体温・脈拍・血圧 酸素飽和度を測定します  手術部位のマーキングをします	朝に浣腸をします   手術前に尿の管を挿入します(手術室にて)	手術後、翌朝まで酸素マスクがついています  胸に管が入っています 必要時、吸入を行います   手術後は頻回に体温・脈拍・血圧 酸素飽和度を測定します	鼻に酸素チューブをつけます  胸の管を確認します 創の状態を確認します ストレッチをします(以後、退院まで毎日)  必要時、吸入を行います   体温・脈拍・血圧 酸素飽和度を測定します
				尿の管を抜去します  必要時、吸入を行います
点滴・内服	 就寝前に眠剤を服用します   持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください	 点滴用の針を挿入します(手術室にて)	手術後の点滴があります   ※痛みなどがあれば看護師に申し出てください	点滴があります   点滴終了後に針を抜去します  内服薬が始まります 
行動	 制限ありません   シャワーできます	 手術着に着替えてください	 床上安静となります	 歩行できます   タオルで清拭します
説明	 医師より説明 手術と治療計画について  麻酔科医師より説明 麻酔について  看護師より説明 入院生活について  薬剤師より説明 持参薬確認 お薬について		 医師より説明 手術経過について	

**\* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください**

\* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。  
 \* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日									
経過	3日目	4日目	5日目	6日目	退院日 7日目									
目標	離床できる 胸の管が抜け順調に回復する ストレッチが積極的にできる				退院後の療養生活について理解できる									
検査	 胸部レントゲン	 胸部レントゲン		 胸部レントゲン										
食事					朝食後、退院となります									
														
処置・観察	胸の管を確認します 創の状態を確認します ストレッチをします (以後、退院まで毎日)					退院時にリストバンドを外します								
	 体温・脈拍・血圧 酸素飽和度を測定します													
点滴・内服														
	内服薬があります 													
行動														
	 胸の管が抜けていればシャワーできます			 シャワーできます	 退院となります									
説明														
				 看護師より説明 退院後の療養生活について	 医師より説明 病理検査の結果と退院後の治療について									
					次回外来受診日 月 日 時 分									

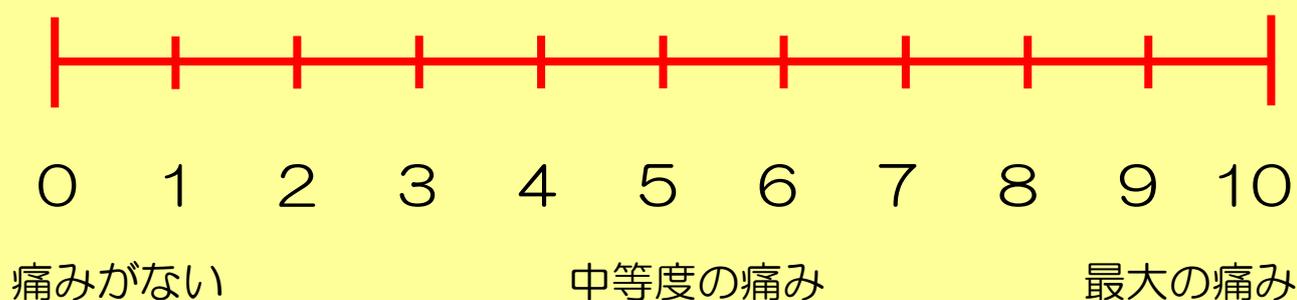
## 手術後の傷の痛みを教えてください

講習を受けた麻酔科医・看護師・薬剤師・臨床工学士で構成された術後疼痛管理チーム（APS）チームが、患者さんの傷の痛みに対して、手術前から計画を立て、傷の痛みが軽減するよう取り組んでまいります。

実際の傷の痛みに対して、NRS(Numerical Rating Scale)：痛みの評価スケールを使用します。0 から 10 までの 11 段階です。

**手術後、どの程度の痛みかを数値で教えてください**

10 を最大の痛みとした場合  
今の痛みはどのあたりですか



APS チームがサポートします。

よろしくをお願いします。

